

ワケ カタチには理由がある(101)

Shape follows
Function & Taste

～グラマン J2F-1 ダック



(同じ主脚収納方式を有する JRF 飛行艇と→)

本機体は、グラマン社の「専売特許」(←もはや死語 w)である機体収納ランディングギアを用いた水上機です。この機体のプロトタイプにあたる JK は、1933 年に初



飛行しています。グラマン社の創業者、リーロイ・グラマンは元米国海軍士官で、その後、海軍に水上機を納品していたローニング社に就職しました。同社は「フライングヨット(Flying Yacht)」という名称でフロートと胴体を一体化した水上機を製造していましたが、同フライングヨットのレイアウトはまさに JF や J2F のそれで、ローニング社の水上機のコセプトがグラマン社に引き継がれていることがわかります。このフロート構造は、喫水線に近い側面に窓を開口することで救難艇としても使用でき、また、胴体に収納できる主脚のおかげで空母に直接着艦できました。まさに多用途機として重宝され、ヘリコプターが登場するまで唯一無二の存在であったため、朝鮮戦争まで使用されました。なお、本機体は戦争映画の名作「マーフィーの戦い」(1971 年)にも主役級で登場します。

【模型について】

チェコの Valom 社の 1/72 のインジェクションキットです。御覧のように、モールドはなかなかによい感じなのですが、最大の欠点は、支柱が短く上翼を載せられないところです。そのため、上翼の裏面に下駄を履かせて支柱を伸ばしています。

(中川裕幸 2024 年 4 月)